



平素より十六銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

ここに、当行の営業の概況や2019年9月期決算の状況を皆さまにご理解いただくため、中間期ディスクロージャー誌を作成いたしました。ご高覧いただき、当行をさらに身近に感じていただければ幸いです。

さて、低金利環境の長期化や、他業態からの参入などによって金融機関を取り巻く環境は大きく変化しており、金融機関へのニーズも高度化・多様化しています。そのようななか、私どもがお客さまに向き合いニーズに応えていくためには、常に変化していく必要があります。他社との業務提携や連携も含め、従来の概念に捉われない「営業変革」と「業務改革」によって経営体質を強化してまいりました。

今年度は、2017年4月にスタートした第14次中期経営計画の最終年度となります。本中計において実行してまいりました「**エンゲージメント1st**」の取組みをさらに加速し、地域金融機関に変わらず求められるお客さまの成長をサポートし持続可能な地域社会の実現に貢献できるよう、お客さまとともに地域の活力を創造する「地域の共創活動」に取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2020年1月

取締役頭取

村瀬幸雄

当行の基本理念

基本方針

十六銀行は金融機関としての公共的使命を遂行することによって地域社会に奉仕する。

十六銀行は広い視野に立ち、つねに合理性を貫き堅実な経営により発展をはかる。

十六銀行はすべての職員が安定した生活ができるよう努力する。

経営方針

頼りにしていただける銀行

当行が歩む道—それは地域社会を離れてはありえません。地域社会との緊密化を深め、豊かで住みよい地域社会を築くことが、当行に課せられた使命です。お客さまの立場に立って行動し、総合金融サービスの拡充に努めるとともに、地元企業の育成、地域開発への参画等、地域中枢金融機関として、皆さまから一層頼りにしていただける銀行になるよう努力しています。

充実した銀行

お客さまのニーズに即応し、質の高いサービスを提供していくには、経営体質が強固でなければなりません。このため、収益力の強化、資産の健全性の維持・向上に努め、リスク管理を徹底するとともに、経営全般にわたる合理化・効率化を推進しています。

行動する銀行

激変する環境にあっても、金融機関としての機能を最大限に発揮する原動力は、高いモラルをもった活力ある人材であり、強靱な組織力です。誠意を尽くし高度な知識をもって、皆さまのお役に立つことができる人材育成に取り組むとともに、変化に柔軟かつ的確に対応できる組織づくりに努めています。

行動指針

職場と人生

われわれは仕事を通じて社会に奉仕する。職場は自己を成長させ、幸福をもたらす場であるとの自覚に立ち、つねに最善をつくそう。

和の精神

信頼と協力は明るい職場をつくる。相たずさえて心からの和を誓おう。

信用の向上

銀行の生命は信用である。誠意をもって人に接し、熱意をもって仕事に当り、信用の向上に努めよう。

たくましい実行力

実行は明日を創造する。信念と勇気をもって仕事をすすめよう。

後継者の育成

後継者の育成はわれわれの責任であり誇りである。明日の経営に自己を活かすことを考え、より良い後継者を育てよう。